

2019年 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社あおぞら	代表者	西田 淑子	法人・事業所の特徴	「本人が望まれる限り、在宅での生活を続けていけるように支援をする」「介護者の負担を軽減することで、心穏やかな生活をご家族と共に過ごしていただきたい」「この人の生き方に寄り添って、一緒に楽しい人生を過ごしてもらう」を理念に、利用者一人一人の人権を尊重し、その人がその人らしく家庭的な環境の下で、地域の方とも交流を図り、本人の意向、趣味、娯楽を受け入れたサービスを提供致します。
事業所名	小規模多機能あおぞら	管理者	西田 裕		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員全員で利用者の目標に取り組むため、聞き取ったことや実現したことをサービス記録に記録し、会議に上げて情報を共有していく、等。	職員全員で取り組んでいます。会議でも積極的な発言が見受けられます。	離職者を出さないような取り組みはしていますか。	職場を働きやすい環境に整え、職員に長く勤めてもらえるよう努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	清潔感があり、ご近所から好意的に見ていただける事業所になる。相談に入りやすい環境を整える。	相談に入って来られるケースも増えてきています。	嫌な臭いもせず、清潔に保っている。	ケースに繋がらない場合でも、相談対応した記録を残すようにし、統計をとれるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々に参加していただけるイベントの企画、実施をする。地域の活動に参加する。(防災訓練等)	運動会などのイベントの企画、実施で地域の多くの方々に参加していただけた。地域の防災訓練にも参加しました。	地域であおぞらを知っている人は増えていると思います。	イベントの企画、防災訓練の参加を続ける。地域とのかかわりに新しい取り組みを模索する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者と一緒にいける地域のイベントに積極的に参加する。外出の機会を増やして季節を感じていただく。	ふれあい喫茶にはできる限り参加させていただいています。各季節にそれぞれ外出イベントを企画し、実施しました。	ふれあい喫茶によく来ています。	地域のイベントに参加を続け、交流を深める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の有る地域の情報収集に努め、困っている高齢者に対して、積極的にアプローチできる環境作りをする。運営推進会議での情報、ご指摘に取り組み、対応する。	町内会の催しの予定表をいただき情報収集を行っています。	運営推進会議での意見に取り組んでいる。	地域のお困りの方を支援できるよう情報収集に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	定期的に(3か月に1度)防火防災訓練を実施する。	確実に訓練を実施しています。	災害時の対応について、事業所の取り組みを知らない。	訓練を引き続き実施し、また災害時の対応マニュアルを地域の方に周知を行う。